

打合議事録	作成日	2022年 8月 5日												
	作成者	前野起男（前野技研工業株式会社）												
開催内容	アルコール検知器協議会 技術委員会													
開催日時	2022年7月29日 15:05~15:40													
出席者	議事進行：三浦技術委員長 出席者：技術委員会員（および任意にて業務委員会委員）													
議論内容	<p>第二回技術委員会 報告 三浦委員長の挨拶</p> <p>三浦委員長からの報告</p> <p>1) 今後の技術委員会の体制について 既存登録会社は 16 社 42 名であったが、今後は今回の新規入会会社 31 社（各社 1 名以上の委員会への参加）を加えた体制となる。</p> <p>2) 今期の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請の増加に対応すべく外部機関の有効活用と作業の効率化を進める。 ・JB20001 規格についての対応 ・アルコールガスのトレーサビリティ WG では、ドライ／ウエットガスの相関性の調査を実施する。 ・義歯安定化剤 WG の活動 ・アルコール検知器協議会に寄せられた技術的な質問等への対応 <p>3) 2022 年の外部検定の運用方針について 新規の申請の増加が見込まれることから、7 月、8 月は月の前半と後半に分けて 2 回／月の受付を予定している。現在までのところ、7 月前半は 5 社 6 機種（旧①班対応）、7 月後半は 3 社 3 機種（旧②班対応）の申請がある。</p> <p>4) 審査会の班編制について 登録会社 47 社を 12 班に分けて 1 班 3~4 社の体制で申請審査を行う。また各班のリーダーは既存登録メーカーから選出した。12 班なので概ね年一回の担当となる見込み。各班のリーダー企業は以下の通り。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 班：新コスモス電機(株)</td> <td style="width: 50%;">7 班：前野技研工業(株)</td> </tr> <tr> <td>2 班：ドレーゲルジャパン(株)</td> <td>8 班：(株)パーマンコーポレーション</td> </tr> <tr> <td>3 班：(株)パイ・アール</td> <td>9 班：東海電子(株)</td> </tr> <tr> <td>4 班：(株)タニタ</td> <td>10 班：(株)東洋マーク製作所</td> </tr> <tr> <td>5 班：フィガロ技研(株)</td> <td>11 班：(株)JVC ケンウッド</td> </tr> <tr> <td>6 班：中央自動車工業(株)</td> <td>12 班：(株)オクト</td> </tr> </table> <p>※ 別紙に班分け一覧を掲示</p> <p>5) OEM 申請、同一機種申請、仕様変更等への対応について 光明理化学工業（株）、NISSHA エフアイエス（株）、（株）ネモト・センサエンジニアリング、（株）ヤナコ計測の 4 社が特別検定班として対応する。</p>		1 班：新コスモス電機(株)	7 班：前野技研工業(株)	2 班：ドレーゲルジャパン(株)	8 班：(株)パーマンコーポレーション	3 班：(株)パイ・アール	9 班：東海電子(株)	4 班：(株)タニタ	10 班：(株)東洋マーク製作所	5 班：フィガロ技研(株)	11 班：(株)JVC ケンウッド	6 班：中央自動車工業(株)	12 班：(株)オクト
1 班：新コスモス電機(株)	7 班：前野技研工業(株)													
2 班：ドレーゲルジャパン(株)	8 班：(株)パーマンコーポレーション													
3 班：(株)パイ・アール	9 班：東海電子(株)													
4 班：(株)タニタ	10 班：(株)東洋マーク製作所													
5 班：フィガロ技研(株)	11 班：(株)JVC ケンウッド													
6 班：中央自動車工業(株)	12 班：(株)オクト													

	<p><u>WG 活動報告について</u></p> <p>1) 規格 WG 光明理化学工業（株）畑リーダーより以下の内容の報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JB10002-2022（改訂版）の運用を7月1日より開始した。 ・JB20001 の内容整備を進めており、機種提供の申し出のある4社に協力してもらい、今秋にはCERIとトライアルを予定している。 ・イミュニティー試験先の検討 会員企業から試験先として5カ所の提案があり、今後CERIとも調整して最終試験先を決める。 ・ISO化については現在までのところ進捗無し。 <p>今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JB10002 の英訳化は、今年秋頃を目処に行う。 ・JB20001 は、イミュニティー試験先を決定して、2023年の運用開始を目指す。 ・ISO化は引き続き検討を進めていく。 <p>2) アルコールガスのトレーサビリティ WG（三浦委員長報告）</p> <p>ドライガス/ウェットガスの相関性調査については特段の進捗はない。今期以降、（株）ヤナコ計測上西リーダーとも協議して検討を開始したい。</p> <p>3) 義歯安定剤 WE（三浦委員長報告）</p> <p>活動は事実上ペンディングで進捗は無い。フィガロ技研（株）の河口リーダーとも協議し、試験先の対応も確認し、時期を見て再開したい。</p> <p><u>技術委員会の今後の取り組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部検定の効率的な運用を監視していく。 ・JB20001 に関するトライアルの実施と2023年の運用開始を目指す。 ・JB10002 の英文化 ・ISO化の調査・検討 ・技術的な質問等への対応
<p>宿題事項</p>	<p>特になし</p>
<p>スケジュール</p>	<p>次回合同委員会10月（日にちは未定） 新方式の検定審査状況により臨時委員会を検討</p>